

保育おおさか

No. 489

平成28年5月1日

発行人 永野 治男 編集人 齊藤 和正

大阪府中央区中寺1丁目1-54

TEL.06-6762-9001 FAX.06-6768-2426

http://www.ans.co.jp/u/osakahtoiku/

子育て支援 施策を一層充実

平成28年度大阪府当初予算が可決・成立しました。
保育サービスに関連する主な予算を抜粋し報告します。

子ども・子育て支援新制度および「大阪府子ども総合計画」の実施に合わせた内容となっています。

(金額単位：千円)

事業名	事業内容	H27当初予算額	H28当初予算額	前年増減
施設型給付費等負担金	市町村が支弁する民間認定こども園、民間保育所、小規模保育事業等における運営費用のうち、都道府県の法定負担分を市町村に交付。	20,119,858	22,464,180	2,344,322
保育対策総合支援等事業	保育教諭確保のための資格取得支援事業や「待機児童解消加速化プラン」に関連する幼稚園における長時間預かり保育支援事業などの事業を実施する市町村に対し必要な経費を助成。	294,420	273,767	▲ 20,653
子ども・子育て支援事業	子ども・子育て支援新制度に基づき策定する「子ども・子育て支援事業計画」により、放課後児童クラブ（運営費補助）や地域子育て支援拠点事業などの事業を実施する市町村に対し必要な経費を助成。	5,047,933	6,095,073	1,047,140
保育所等整備事業 【安心こども基金活用事業】	待機児童解消のための民間保育所の創設・増築や老朽施設の改築による環境整備、認定こども園などの整備を行う市町村に対し必要な経費を助成。	10,493,135	13,461,011	2,967,876
子育て支援人材確保事業	保育士を確保するため、潜在保育士の就業を支援。	14,317	13,602	▲ 715
地域福祉・子育て支援交付金	市町村が地域の实情に沿って「地域福祉」、「子育て支援」および「高齢」の各分野の事業を実施できるよう交付金を交付。	1,990,856	1,990,856	0
地域福祉・子育て支援交付金 「子育て支援分野特別枠」	市町村子ども・子育て支援事業計画などの目標の達成に向け、市町村が取り組む事業を支援するため交付金を交付。	300,000	200,000	▲ 100,000
新子育て支援交付金	市町村における乳幼児医療費助成をはじめとした子育て支援施策の充実を支援するため、交付金を交付。	1,700,000	2,200,000	500,000
事業所内保育施設 設置促進相談支援事業	待機児童の早期解消と働きやすい環境づくりを目指し、事業所内保育施設の設置を検討している事業者に対して、制度等の紹介や関係機関等へのつなぎを行うワンストップ窓口を設置し、早期の事業化を促進。	0	9,518	9,518
保育人材確保事業*	増大する保育ニーズに対応するため、保育士修学資金等の貸付を実施（一定の条件を満たした場合に返還免除）。	0	2,060,240	206,024

※は平成27年度補正予算

私も昨年長男が生まれ、父親1年生。息子の顔を見ながら「このお母さんに負けないぞ」と思う。同時に、お預かりしている大切なお子さんにもとことん寄り添い、大きく包みこんでいきたいと思っています。

どんなヤンチャもどんとこい！今年もこの幸せな仕事を乐しもう。（編集委員T・Y）

少し前に流行った「学年ビリのギャルが1年で偏差値を40上げて慶應大学に現役合格した話」略して「ビリギャル」の本を読んだところ、1年間で現役合格するストーリーの中で、大きな役割を果たすのが母親の信念でした。その一つに、親は子どもを絶対に守るという姿勢を見せ続けること。二つ目には、褒めること。最後に味方であり続けることでした。

とすっかりした元気の声が。新年度の忙殺の日々から少し解放され、久しぶりにゆったりと聞き入る。そして、何と幸せな仕事だろうとしみじみ思いました。



机に向かい仕事をしていると、隣の部屋からかわいい歌声が。2階からはお兄ちゃん、お姉ちゃん、お母ちゃんが歌うちよっ

地域貢献事業の求心力を

さらに高める

大阪しあわせネットワーク事業報告及び実績

大阪しあわせネットワークの動き

大阪府社会福祉協議会ならびに各施設種別部会では、昨今の社会経済情勢の変化などにより顕在化してきた課題「制度の狭間」への対応や、社会福祉法人のあり方をめぐる議論に応え、27年度から「大阪しあわせネットワーク」として、社会福祉法人の強みを活かしたさまざまな地域貢献事業を推進しています。

事業」では、27年度から全施設種別で取り組みがスタート。救護施設、障がい者支援施設、母子生活支援施設などでコミュニケーションソーシャルワーカーによる総合生活相談事例のほか、保育園やスマイルサポーターと連携した支援事例も出てきています。

基金は生活困窮者への食料提供や、ライフライン復旧などの緊急支援をはじめ、大阪しあわせネットワークの推進に活用しています。また、各社会福祉法人で取り組まれているさまざまな地域貢献事業を推進。「見える化」を図るため、大阪府社協機関誌「福祉おおさか」に連載記事「頑張っています！社会福祉法人の地域貢献」で実践を広く紹介。このほか、3月10日には「マッセ・市民セミナー」社

「社会貢献基金(特別部会費)」についても、27年度から全施設種別部会から拠出がはじまり、会員施設の約75%にあたる1,000施設以上から、1億7千万円

を超える拠出がありました。基金は生活困窮者への食料提供や、ライフライン復旧などの緊急支援をはじめ、大阪しあわせネットワークの推進に活用しています。また、各社会福祉法人で取り組まれているさまざまな地域貢献事業を推進。「見える化」を図るため、大阪府社協機関誌「福祉おおさか」に連載記事「頑張っています！社会福祉法人の地域貢献」で実践を広く紹介。このほか、3月10日には「マッセ・市民セミナー」社

就任のごあいさつ



白波瀬雅彦氏

永野部会長をはじめ、大阪府社会福祉協議会保育部会の皆様方には、日頃から児童福祉行政の推進にご協力いただき、厚く御礼申し上げます。平成28年4月1日付けで大阪府福祉子ども室子育て支援課長に着任いたしました白波瀬雅彦でございます。

これまでから地域の子育て支援に御尽力をいただき、またスマイルサポーターの養成など、幅広く地域福祉の推進に取り組まれ、大変心強く感じております。私も精一杯頑張っておりますので、どうかよろしくお願い申し上げます。



地域のニーズをしっかりと受け止め、それに応える社会福祉法人のすがたを表現しています。全体を囲む円は、課題解決のために大阪府内すべての社会福祉法人が連携する様子を表します。イメージカラーは、ひとりひとりのしあわせを願うピンク色です。

保育部会での動き

会福祉法人による地域貢献事業実践報告会」を開催。地域住民、市町村社協、行政福祉関係者など幅広い参加者に向けて、社会福祉法人の地域貢献実践を発信しました。

大阪しあわせネットワークへの取り組みの一環として、保育部会では、スマイルサポーター養成研修課程を27年度も実施。28年度の保育部会総会にて修了者190人がスマイルサポーターの認定を受け、累計で1,756人になります。

事務局紹介



中尾圭伺

今年度から社会福祉法人秀幸福社会より、研修生として出向してまいりました中尾圭伺と申します。保育部会の事務局を担当させていただきます。

保育部会主催の研修の多さに、驚きと一方で、これからさまざまな業務に携われることに胸が高鳴っています。

初めてのことで、右も左もわからない状況で、至らない点が多々あるとは思いますが、一日でも早く会員の皆様のお役にたてるよう一生懸命努めてまいりたいと思っています。よろしくお願いたします。

取り組みを外部に発信する機会となりました。

28年度に向けて

スマイルサポーターと他種別施設のCSWが共同で研修を行うことで、お互いの専門性を理解し合い、今後の連携につながっていくよい機会になりました。

大阪しあわせネットワークが開始されて1年。2年目に入る今年度は、他種別施設とのつながり、連携をより強化していくことで、支援の輪を広げ、深めていくことがますます重要になってきます。「社会福祉法の一部を改正する法律」が可決された今、社会福祉法人の強みを活かした地域貢献事業の求心力をさらに高めていかなければなりません。

また2月には、群馬県保育協議会の役員などが、「大阪しあわせネットワーク」「スマイルサポーターの取り組み」を視察。大阪の取

り組」を視察。大阪の取

まわりを理解できる 豊かな心情を大切に

風を肌で感じる生きた自然学習

豊中市

保育所

のばたけマミー保育園

室内は遊びによってコーナーを作り、保育士と一緒に好きな場所を選んで自主的に遊ぶようにしています。



室内のようす

のばたけマミー保育園は、平成27年9月に開園した定員20人の乳児施設です。豊中市緑丘の静かな住宅地にあるビルの1階で0〜2歳児の保育を行っています。



保育園外観

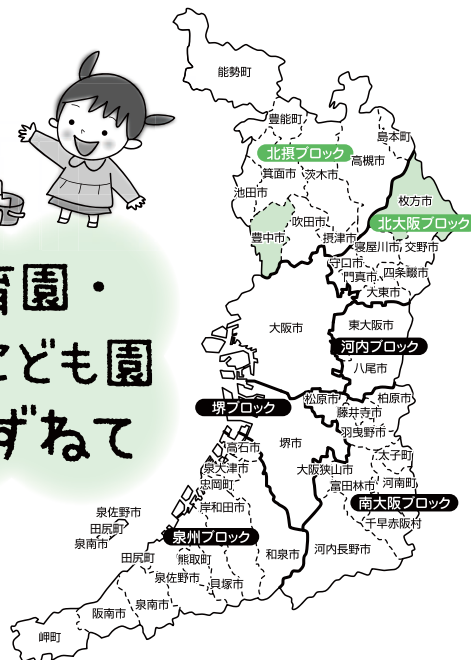
び、季節の草花を目にしたりと、風を肌で感じる生きた自然学習や地域交流をされています。

「仕事をしながらでも安心して子育てができるよう、保護者に寄り添った支援で温かい家庭で人のかかわりの基礎である『愛着感情』を育む。大切にされる自分を感ずることで、自分に自信をもつて周囲に目を向けることができる。低年齢でも自分を主張し、まわりを理解できる豊かな心情を育みたい」と奥瀬佳代子園長は語られました。その取り組みの一つに「生まれてくれてありがとう」という思いを込めて、誕生日を大切にしたい行事があります。



保育園・
認定こども園
をたずねて

537



新園舎外観

ずはあけぼの保育園は、京阪沿線の樟葉駅から徒歩15分ほどの、閑静な住宅街の中にあります。創立1981年、35年の歴史ある保育園で、2012年の新園舎建て替えとともに定員を120人から140人に増やしました。

玄関には広々としたロビーがあり、たくさんの絵本が置かれています。『絵本の大好きな子に！』を目標に、保育の中で絵本に触れること、絵本を見ることを大切に考えられ、蔵書数は三千数百冊にものびります。毎週金曜日に貸出日が設

けられ、絵本を通じた家庭での親子のふれあいの時間も大切にしています。絵本をベースにして、子どもたちの思いや感動が作品展や発表会へとつながっていくそうです。「絵本にふれる中で、一冊一冊の絵本を大事にするということも身についています」と尾山主任先生は話してくださいました。

また、体力作りとして「歩くこと」「リトミック」にも力を入れ、園周辺のさまざまな公園などへは歩いて出かけています。毎年5歳児のお別れ遠足では、京都府八幡市にある石清水八幡宮まで往復を歩きます。幼児は、年間80kmほどを日頃からしつかり歩いているため「子どもたちは積極的に歩くようになりました。便利



今日はどの本を借りるのかな？

(編集委員 H・S)

絵本が大好きな子に！

絵本でつながる親子のふれあい

枚方市

保育所

くずはあけぼの保育園

子どもたちが地域社会の一員として参加できる環境づくり

堺市

幼保連携型認定こども園
みはらだい
三原台こども園

子どもたち一人ひとりが地域社会の一員として参加

ポイント①地域活動への積極的な参画。②園活動を可能な限り地域に開放（協働）する。③地域の方にも有益な情報として提供できるような表現に工夫することです。



ふれあい喫茶

（編集委員 T・S）

できる環境を作る努力をすることで、教育・保育施設で展開されている活動は、「迷惑」でなく「容認」または「必要」とされるようになるという考えに感銘を受けました。

認定こども園は、乳幼児に教育・保育を一体的に提供する役割のほか、地域の子育て支援の拠点としての役割も担う施設であり、当園も開園当初から子育て支援事業に力を入れています。

1,660㎡余りある園庭を地域の子育て家庭に開放する「園庭開放」や、簡単な製作などを通して親子



今日のおやつも美味しい！

（編集委員 Y・S）

今後とも地域の子育て支援の拠点としての役割を全うし、子育て支援事業に力を入れていきたいと思っています。

原台こども園は昨年「に」幼保連携型認定こども園に移行し、一年が経過しようとしています。平成13年の開設以来、地域の活動と連動性や整合性をもたせた園活動を心がけ、工夫を重ねてきました。

その基本には「子どもたちも地域社会の一員である」という想いと、いかに子どもたちの社会参加を促進させるかを常の課題としています。



みんなで配達

保育園・認定こども園をたずねて

538



笑顔がはじける親子教室

地域子育て支援の拠点となるように

幼保連携型認定こども園
とりいし
取石認定こども園

高石市



シリーズ●より良い保育士養成のために

「守られる人」から 「守る人」へ…

南海福祉専門学校
児童福祉科長

原田 敬文

「自立」と「自律」

「昨今の若者は…」という言葉をよく耳にします。

いつの時代も、若者には独特の文化や考え方がありますが、大抵の場合、この接頭語の後ろには、コミュニケーション能力がない、積極性に欠ける、忍耐力がない等、若者に対して批判的な言葉が続きます。

心理学科目の教員として、これらの問題に向かい合う中で感じるのは、学生たちは、人生において「自己決定」の経験がほとんどないということです。

私たち養成校の教員は、

シリーズ●より良い保育士養成のために

「守られる人」から 「守る人」へ…

南海福祉専門学校
児童福祉科長

原田 敬文

日々学生と向かい合う中で、一人ひとりの学生が「自立」と「自律」ができるよう、日々の教育活動を進めています。

「自立」とは、他者に依存しないで行えるようになることです。

一方、「自律」とは、他者の判断や指示によらず、自分自身で判断し行動することです。

今どきの学生は、この「自立」と「自律」を促す経験が少なく考えます。

しかし、周囲の強い助言等で進学先を決めた場合、進学後の学習活動についていけない等の状況に陥った時に、その責任を他者に求めてしまう傾向にあるのです。

「自己決定」したという経験の重要性

小学校では、決められた

時間割に合わせて学習をし、帰宅後は、保護者の勧めによる習いもの、日々食べるものも、メニューのきめられた給食を食べています。中学、高校の進学においても、学習塾や保護者が進学先を決めている場合も少なくないのです。

最近の青少年が、人を傷つけたたりする事件の背景には、過大な両親の期待や助言によるプレッシャーが影響していると考えられています。

「自己決定」をしないで育った青年たちは、人生で幾度となく訪れる壁にぶつかった時に、その失敗の要因を他者に求めてしまうのです。

例えば、自分の学力的には進学してからも、授業理解が難しい進学先だとしても、自分で決めた進学先であれば、進学後の困難な状況も自己で受け入れることができます。

しかし、周囲の強い助言等で進学先を決めた場合、進学後の学習活動についていけない等の状況に陥った時に、その責任を他者に求めてしまう傾向にあるのです。

学生たちは、このような過度の期待に応えようと、「自己決定」する機会を失いながらも、もがき続け、その結果、指示待ちの人間になっていくのだと考えられます。

私は学生と向かい合う中で、「自分の行動や活動をしているのは、自分である」という意識をもたせることが重要であると考えています。

しかしながら、世の中では、ファッション雑誌があふれ、自分らしさを表現することなく、保護者や教職員の愛情や保護のもと、自己決定をしない、または、できない学生が増えてきています。

自己決定をすることなく、過ごした学生は、不安や緊張、感動や責任を感じることが少なく、表面的な失敗はしないといわれています。

その結果、現実の生きいきとしたできごとを感じる力を喪失し、自己の概念が創造した仮想世界に、感動や生きがいを見いだしてしまうのです。

反対に、自己決定をしなから過ごしてきた学生は、

時には、失敗や苦しみを味わうこともあります。緊張や安堵感から「生きる」実感を持ち、健全な精神が育つとされています。

子どもたちを「守る」保育者に

保育士、幼稚園教諭の養成校である本校の使命は、学生が常に、「生きる実感」を感じながら学習できる環境を整え、社会人として本校を巣立った後、その現場で出会う子どもたちに、「生きる実感」を伝えていける人材を養成することです。

ライアンとコンネルとデジは、たとえば他者決定しなくても、適切な人が指導を行えば、自己決定できるように、徐々に変容すると述べています。

そのために、本校では、学生のニーズに合わせた学習活動ができるような、さまざまなコースを設置しています。

教員間では、学生が失敗経験を繰り返しながら、成功経験につなげ、自身の人生の充実と、保育者スキル

が醸成できるようなカリキュラムの編成を心掛けるようにしています。

入学当初の授業で、必ず伝える言葉があります。「守られる人」から「守る人」に変容する2年間にしてほしいということです。

本校での2年間は、教職員一丸となって、学生の「自立」と「自律」を支援し、「守られる人」から「守る人」への変容をサポートしています。

将来の保育士・幼稚園教諭の養成に携わる者として、「無限の樹形図」を作っているという覚悟をもって日々の教育活動を進める必要性を痛感しています。養成した学生たちが、子どもたちを「守る」立派な保育者として、現場で活躍し、そこで出会う子どもたちの未来につながっていることを確信し、卒業生を送り出しています。



ブロックだより

OSAKA

平成28年度各ブロックによる研修等の事業計画です。

北摂

- 4月7日 正副部会長会議
- 5月10日 総会・研修会
- 5月 職員運動会準備会
- 5月29日 職員運動会
- 6月 運動会反省会
- 6月19日 就職フェア
- 8月 職員納涼研修
- 9月 役員会
- 11月 バレーボール説明会
- 11月 保育士研修会
- 11月 年末研修会
- 11月29日 職員バレーボール大会
- 1月 スマイルサポーターフォローアップ研修
- 2月 主任職員研修会

3月 職員研修会

北大阪

- 4月15日 第1回役員会
- 6月10日 第2回役員会
- 総会、理事長・園長研修会
- 7月下旬 第3回役員会
- 職員研修会
- 9月初旬 スマイルサポーターフォローアップ研修会
- 10月下旬 正副部会長会議
- 12月初旬 第5回役員会
- 年末理事長・園長研修会
- 1月下旬 第6回役員会

保育者研修会

河内(東大阪市)

- 4月20日 総会
- 5月10日 新任研修
- 5月 楽器の扱い方や発声の仕方 研修会
- 6月3日 わんぱくフェスティバル
- 6月中旬 理事長・園長管外研修会
- 6月 保育におけるリスクマネジメント研修会
- 7月2日 ボウリング大会

8月 河内ブロック連絡会・研修会

- 9月 子どもの人権に関する研修会
- 10月 コミュニケーションの取り方 研修会
- 12月 社会福祉法人制度改革に向けての実務
- 1月 スマイルサポーターフォローアップ研修
- 2月 河内ブロック連絡会・研修会
- 2月 感染症に関する研修会
- 3月 テーブルマナー研修会
- その他 障害児研修会、給食調理研修会など実施予定

1月 食事マナー研修

- 2月 卒園記念サッカー大会(年長児)
- 3月 平成29年度新任研修
- 4月19日 総会・園長会
- 5月 園長研修会
- 7月 園長研修会
- 10月 全体園長会
- 11月5日 保育士さん感謝の会
- 11月 園長研修会
- 5月17日 総会・研修会・懇親会
- 5月 園長研修 詳細未定
- 5月 保育士研修
- 5月21日 総会・記念講演
- 7月2日 研修「就学前の子どもの配慮と、その保護者へのかかわり方」
- 11月26日 泉州保育士会30周年記念式典
- 1月7日 研修「子どもの人間関係づくり(からだ・ことば・リズム・ふれあいあそびから)」

堺

泉州



平成28年度がはじまり、子どもたちもようやく園生活にも慣れてきたころと思います。

認定こども園への移行により、職員配置についても公定価格の加算等で多くの保育教諭が必要とされることで、子どもへの手厚い保育を行うことができて良

また、各園も例年よりも採用時期を早め、保育士の確保に向け積極的に進めています。そして各ブロックや一般企業での就職フェアの開催が盛んに行われようとしています。

では正職員であることが前提でしか応募者が無いという状況を考えると不安に感じます。時代の流れだとは思いますが、園の運営、地域での状況に適応していくことが必要だと思います。

間関係や仕事の難易度、勤務時間の長さなどが大きな要因と考えられています。職員一人ひとりの心情、意欲、態度を把握して対応を検討することが必要なの時代になってきたのでしょうか。

未来を見据えた経営を

泉州ブロック

昔でしたら考えられない現象だと思えますが、退職職員の意向を把握しない

で、採用計画を進めていかざるを得ません。少子化傾向にある状況と、また、採用に対しての条件とし

ては、採用に力を入れるのも大切ですが、その反面退職者を減らす努力の方が各園で手を打ちやすいのではないかと思います。退職する理由としては、人

倍ものの応募者があった時代は過ぎ去りました。園は知恵を絞って、未来を見据えた経営が試されている時ではないでしょうか。(池上わかば)こども園

南大阪

- 5月 総会
- 6月 発達に関する研修
- 6月 大運動会(年長児)
- 9月 園長研修
- 11月 職員一泊研修
- 1月 新任フォロー研修

※いずれの事業計画も、平成28年度総会の承認をもって確定となります。

さんぽ

平成28年度がはじまり、子どもたちもようやく園生活にも慣れてきたころと思います。

認定こども園への移行により、職員配置についても公定価格の加算等で多くの保育教諭が必要とされることで、子どもへの手厚い保育を行うことができて良

また、各園も例年よりも採用時期を早め、保育士の確保に向け積極的に進めています。そして各ブロックや一般企業での就職フェアの開催が盛んに行われようとしています。

間関係や仕事の難易度、勤務時間の長さなどが大きな要因と考えられています。職員一人ひとりの心情、意欲、態度を把握して対応を検討することが必要なの時代になってきたのでしょうか。